

すべて、永遠じゃない。

# 霧の淵

*Beyond the fog*



第72回  
サン・セバスティアン国際映画祭  
新人監督部門ノミネート



第28回 釜山国際映画祭  
A Window on Asian Cinema部門  
招待作品

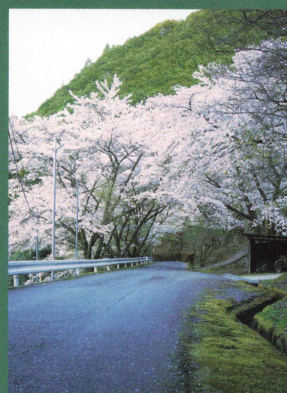
三宅朱莉 三浦誠己 堀田真三  
水川あさみ  
監督・脚本 村瀬大智

エグゼクティブプロデューサー 河瀬直美 プロデューサー 吉岡プロレス 亜衣子  
撮影 百々武 録音 森英司 照明 藤江立 美術 堀川節子  
助監督 福嶋賢治 制作担当 濱本敏治 編集 唯野浩平  
音楽 梅村和史 衣裳 山上順子 ツェイトク 南辻光宏 中野泰子  
編集 唯野浩平 音楽 梅村和文 撮影助手 田安仁  
照明助手 楠哲也 八上川和博 録音助手 増田岳彦  
美術助手 岡本まりの 監督助手 石井千秋 制作主任 藤原達昭  
メイクアップ 川添ビラル スチール 植谷綾二  
製作なら国際映画祭 助成奈良興 川上村 奈良市





残された景色、  
忘れたくない美しさが  
そこにはあった――。



第72回サン・セバスチャン国際映画祭の新人監督部門に最年少で選出、「奥深い日本の暮らしを描いている」と賛され、アジア最大規模の映画祭、第28回釜山国際映画祭 A Window on Asian Cinema部門招待作品としてアジアプレミアを遂げた本作。メガホンをとったのは、若手クリエイターの台頭、今、最も映画館で観てほしい監督 **村瀬大智**。本作で長編商業デビューとなる。物語の舞台となった奈良県吉野にある川上村に村瀬監督自ら単独で長期滞在し、現地の人々との交流から生まれたこの物語は、この村で実際にある老舗旅館を舞台にどこか懐かしく、親しみのある目線で「家族の物語」を描いている。

本作の主演を務めるのは、オーディションで抜擢された奈良県出身の新人俳優 **三宅朱莉**。老舗旅館を営む家に生まれた主人公・イヒカ役を演じ、子供から大人への揺れ動く佇まいを瑞々しく表現、映画の中で存在感を放っている。またイヒカの母・咲を演じるのは、『喜劇 愛妻物語』、『滑走路』(20)でキネマ旬報ベスト・テン主演女優賞ほか多くの映画賞を受賞する実力派俳優 **水川あさみ**。別居中の旦那の実家の旅館を切り盛りするという複雑な状況の中、娘の成長を見守る母親を真つすぐに演じる。そして、イヒカの父・良治役を演じるのは、『母性』(22)、『ケイコ 目を澄ませて』(22)など話題作に多数出演する映画界に欠かせない俳優 **三浦誠己**。更に、イヒカの祖父・シゲ役を演じるのは、TBSドラマ「水戸黄門」シリーズ等人気ドラマシリーズをはじめ、数々のVシネマの名作に出演する名優 **堀田真三**が出演。

どこか懐かしく、一瞬、一瞬かとても心地よい、今、この時代だからこそ残したい大切な時間を丁寧に映し出した傑作が誕生した。



## STORY

奈良県南東部の山々に囲まれたある静かな集落。かつては商店や旅館が軒を並べ、登山客などで賑わったこの集落で、代々旅館を営む家に生まれた12歳のイヒカ。数年前から父は別居をしているが、母の咲は、父との結婚を機に嫁いたこの旅館を義理の父・シゲと切り盛りしている。そんなある日、シゲが姿を消してしまう。

旅館存続の危機が迫る中、  
イヒカの家族に変化の時がやってくる――。



【名画座2本立て】 1/10(金)～1/16(木)上映

併映作品『幻の光』

キネカ大森

03 3702 8000 fgc.jp

× @kiri\_no\_fuchi24

映画最新情報

